

平成 29 年度第 2 回 青梅市健康増進計画推進会議要録（概要版）

1 日時 平成 30 年 2 月 8 日（木） 午後 1 時 30 分から午後 3 時

2 場所 健康センター 1 階 相談・指導室

3 出席委員

大木委員、土田委員、本間委員、岩浪委員、菊池委員、宮口委員、  
吉澤委員、永井委員

4 傍聴者 0 人

5 議事

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 議題

ア 健康に関するアンケートの結果について（資料 1・2）

イ 今後のスケジュールについて

ウ 自殺対策計画について（資料 4）

(4) その他

(5) 閉会

**資料一覧**

- ・資料 1 …健康に関するアンケートの結果について
- ・資料 2 …分野別数値目標一覧
- ・資料 3 …今後のスケジュールについて
- ・資料 4 …計画公表までのスケジュール（案）
- ・参考資料 1 …青梅市健康増進計画推進会議委員名簿
- ・参考資料 2 …健康に関するアンケート

## 6 議事内容 (概要)

発言者	会議概要
健康課長	<p>(1) 開会</p> <p>定刻となりましたので、平成29年度の第2回青梅市健康増進計画推進会議を開催させていただきます。式次第に従いまして会議を進めさせていただきたいと存じます。</p> <p>なお、東京都西多摩保健所地域保健推進担当課長の小林委員につきましては、欠席の御連絡をいただいております。</p> <p>本日司会を務めさせていただきます健康課長の丹野でございます。概ね定刻の3時閉会を目途に進行させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは次第の2、あいさつといたしまして、橋本健康福祉部長より御挨拶申し上げます。</p>
健康福祉部長	<p>(2) あいさつ</p> <p>健康福祉部長の橋本でございます。本日は大変お忙しい中、またお寒い中、第2回目の青梅市健康増進計画推進会議に御出席を賜り、誠にありがとうございます。日頃から色々皆様には、青梅市の保健衛生行政に御指導御協力を賜り重ねて御礼を申し上げます。</p> <p>今年も1ヶ月が経ったわけですが、4年前の大雪を思い出すように、今年は2度の雪に見舞われました。2月18日の日曜日には、第52回の青梅マラソンが予定されておりまして、現在約2万人のランナーの方にエントリーしていただいておりますので、どうしても青梅市ではこの時期、天候の心配をしているところでございます。</p> <p>一方、インフルエンザでございますが、先月28日までの一週間で、全国の医療機関から報告された患者数が、1医療機関あたり50人を超えており、調査を開始した1999年以降最も多くなったということでございます。10人で流行、30人で大流行と聞いてございますので、50人という数字は非常に多い患者数ということになります。どうぞ、皆様方も十分お気をつけいただければと存じます。</p> <p>本日は、健康に関するアンケートの結果がまとまりましたので、それを含めた議題を御協議いただきまして、今後の健康づくりの更なる推進、次期計画の策定等に向けて、委員の皆様方から忌憚のない御意見をいただきたいと存じます。大変簡単ではございますが、開会に当たっての御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>

健康課長	<p>(3) 議題</p> <p>議事に先立ちまして、本日の資料の確認をさせていただきます。初めに、会議の次第、続きまして資料1「健康に関するアンケートの結果について」、資料2「分野別数値目標一覧」、資料3「今後のスケジュールについて」、資料4「計画公表までのスケジュール(案)」、続いて参考資料1「青梅市健康増進計画推進会議委員名簿」、参考資料2「健康に関するアンケート」、追加で机にお配りさせていただきました、3月21日に実施いたします市の食育講演会のパンフレットが1枚と、本年1月から開設いたしました、青梅市子育て世代包括支援センターのパンフレットをお配りさせていただきました。資料等の不足はございませんでしょうか。</p> <p>それでは議題に入らせていただきます。青梅市健康増進計画推進会議設置要綱第6項の規定によりまして、以後の議事進行につきましては、大木会長にお願いしたいと存じます。それでは、大木会長よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>今年度最後の会議になります。今まで取り組まれてこられた、健康に関するアンケートの結果がまとめられておりますので、その内容が主な議題となります。この会議は公開会議となっておりますが、本日は傍聴者がいないので、このまま議事に入らせていただきます。</p> <p>初めに「(1) 健康に関するアンケートの結果について」を事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>～資料1、資料2、参考資料2について説明～</p>
会長	<p>回答いただいたなかで、男女別の年齢の分布はどうなっていますか。</p>
事務局	<p>検診でアンケート配布をしたことが多かったため、50歳代から70歳代の方が多いです。20歳代から30歳代の男性が少なかったため、職員にアンケートを取り、年齢・性別のバランスが取れるようにしております。</p>
委員	<p>資料1でアンケート配布を実施した事業と件数が記載してあるが、誰が対象で選んだ根拠がわかりにくいと思いますし、回答者の年齢分布と整合性が合わないと思いますが、いかがでしょうか。</p>
会長	<p>20歳代から30歳代頃のお母さんが参加されていると思われる、多くの母子保健事業でアンケート配布を実施しているのに、全体の回収結果としては60歳代が多くなっている理由に関する質問かと思います。</p>

委員	<p>講演会をはじめとした市の事業に参加されるのはほとんどが年配の方なので、年齢が偏るのはよくあると思います。</p>
会長	<p>スポーツ・レクリエーションフェスティバルでも、年配の方が多く参加されていますか。</p>
事務局	<p>そうです。スポーツ・レクリエーションフェスティバルでは、自由に運動できるイベントもあり、若い方も多く参加されていたので、若い方からも多く回答を得られたとっております。</p>
委員	<p>この会議の目的は市民の健康をいかに維持していくか、そして医療費と市の財政的負担を減らしていくということだと思います。その意味において、今回配布した事業だけで青梅市の指針となり得るのかは疑問です。もっと広く集計した方が良いと思います。</p>
事務局	<p>参考にさせていただきます。</p>
委員	<p>今回のアンケートの結果の年齢分布と、実際の青梅市民の年齢分布は同じくらいですか。</p>
事務局	<p>2月1日現在の青梅市の65歳以上の高齢化率が28.94%となっております。いわゆる「団塊の世代」の方が多くて、続いて「団塊のジュニア」多いという年齢分布となっております。</p>
委員	<p>ぴったり同じではないということですね。</p>
会長	<p>今回のアンケート実施方法については、前回の会議のなかでも話があったと思います。予算がないなかで実施するので今回はこの形で実施し、次の計画の策定時には、市民のなかから2,000人を無作為抽出して、郵送によるアンケートを実施することになっていると思います。中間評価としては元々無理がある内容なので、それが今後の課題となっております。今回のところは、アンケートの集計結果を分析し、青梅市の取組の参考にしていただきます。ただ、青梅市全体の指標となるわけではないので、世代の分布とか性別分布の偏りがあるという前提でご覧いただいて、何か意見があればいただければと思います。</p>

委員	<p>分野4の「喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及」の目標数値は100%となっていますが、そこまで求める理由があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>この計画の目標値は国や都の目標値を参考に作成しております。</p>
委員	<p>「たばこを吸ったら害があります」ということであれば、認知度は100%になると思いますが、影響がある項目に細分化してしまうと認知度は低くなると思います。特に理由がないのであれば100%を目標にしなくても良いと思います。</p>
委員	<p>加熱式たばこのパンフレット等を見ると、9割くらいはがんにならないと書いてあります。タールがないからがんにはならないけど、心筋梗塞や脳卒中になることは変わらないということが抜けているんです。小学校で薬物乱用防止の教室をやった時、「アイコスだったら吸っても大丈夫と親が言った。」という子がいたので、そこについての普及啓発をしなくてはなりません。</p>
委員	<p>そこに関連して、薬物や危険ドラッグも100%でも良いと思います。薬物等もたばこと同じように、何十種類もあって危険なので、周知が必要だと思います。</p>
会長	<p>危険ドラッグは依存性で指定されています。不純物が含まれているので、副作用は急性的な精神症状を出していますが、長期的には身体異常・精神異常を引き起こす薬物を指定しています。</p> <p>たばこを吸う妊婦さんはだいぶ減ってきているようですが、次世代にもおよぶ健康影響ですので、「妊娠に関連した異常」についても100%になってもらいたいです。</p>
委員	<p>歯科医師会も、歯周病との関わりについてを、最近になって周知するようになったのですが、まだ周知が広まっていない状況です。</p>
医師会	<p>医師会としては、5月に行われる健康まつりで肺年齢の測定を予定しております。その際に、COPDの知識の普及ができればと思っております。</p>
会長	<p>喫煙者の割合は、今回調査した年代で増加しているようです。</p>

委員	特に若い女性が増加していると思います。学校の児童に聞いてみても、お母さんが吸っていると答える子が多いです。
会長	受動喫煙の防止に関して、まちづくりの取組みとしてはどんなことをしているんですか。公共施設では禁煙になっているんですよね。
事務局	学校は施設内全面禁煙になっております。また、河辺駅・東青梅駅・青梅駅の主要3駅の周辺は、路上喫煙禁止区域になっております。
会長	飲食店はどうですか。
事務局	国や都の今後の状況次第となっております。
会長	他の自治体でも、東京オリンピックの開催に向けて、一般の飲食店にもご協力いただいて取組を強化しているところもあるようです。今回の調査結果を見ると、やめたいと思っている方も多いためなので、サポートできる環境作りをお願いしたいと思います。
委員	検診の受診率は上げられないんですかね。
事務局	検診を受けられない方への働きかけや周知については、これまでも実施しておりますが、なかなか掘り起こしができていない状況です。
委員	女性が受けられないんですか。
事務局	データによると女性の方が多く受けられています。30～40歳代の働き盛りの男性の受診率が低いです。
会長	青梅市では特定健診とがん検診を同日に受診可能ですか。
事務局	特定健診と大腸がん検診は同日に受診できます。
会長	悩みや心配事を誰にも相談しない人の内訳はどうなっていますか。内訳によって対策が変わってくると思います。
事務局	アンケートに書いて提出してくださっている方なので、引きこもりの方では

	<p>ないと思いますが、引きこもりの方への心配もする必要があると思うので、色々な角度から、今後御協議いただきたいと考えております。</p>
会長	<p>誰にも相談しない人が7%もいるのは深刻な状況だと思います。</p>
委員	<p>高齢者が多いことも関係しているのでしょうか。年代がはっきりわかると良いんですが。</p>
事務局	<p>ストレスを感じても誰にも相談しない人の男女割合は、男性の方が多くなっております。年代別では偏りはなく、各年代でいるようです。</p>
会長	<p>他に全体を通して何かありますか。</p>
委員	<p>たばこについては法律で禁止されておらず、自由意思で許されているところなので、たばこは全て悪いみたいな書き方はどうかと思います。最終的には認知度100%を目標にすることですが、そこまでお金をかけるべきなのかなと思います。また、問6「1日最低1食、きちんとした食事を、2人以上で楽しく30分以上かけていますか。」ですが、食べているか食べていないかが重要であって、「2人以上で楽しく」というのは余計じゃないかなと思いました。</p>
会長	<p>問6については、複数のことを1つの設問で聞いているので、アンケートで聞くには難しい表現かなと思います。たばこについては、予防にお金をかけるというコストベネフィットに関してですが、たばこ対策に十分な予算が付けられているとは思いませんが、もう少し予算をかけて取り組んだ方が良いと思います。</p> <p>続いて「(3) 今後のスケジュールについて」を事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>～資料3について説明～</p>
会長	<p>平成32年度から次期計画が始まるので、31年度は次期計画の検討期間になります。次期計画を検討するにあたって、今期の計画の評価と、次期計画に向けてのベースラインデータを取るということで、平成30年度に意識調査を実施するというスケジュールになっているということですね。平成30年度の意識調査の時には、今期計画の評価をしなきゃいけないので、今回のアンケート</p>

	<p>と同じ設問は必要となりますが、次期計画のための設問でもあるため、調べておいた方が良い事や聞いといたほうが良い事などをここで議論しておく必要があります。質問が増えすぎるのも良くないですが、自宅へ郵送という形になるので、多少時間をかけて答えていただくことは可能かと思います。その時も食育の内容を含んだ調査をするんですか。</p>
事務局	<p>食育推進計画の内容を含めて調査をします。</p>
会長	<p>次年度は8月に第1回目の会議があって、第2回目は市民意識調査を実施した後に開催するんですか。</p>
事務局	<p>アンケート実施している頃に開催することになるかと思います。</p>
会長	<p>続いて「(4) 自殺対策計画について」を事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>～資料4について説明～</p>
会長	<p>自殺対策計画は各自治体で定めることになっており、青梅市でも作成していくということですね。橋りょうの欄干のかさ上げをしているという説明もありましたが、その辺も含めてご意見等ございますでしょうか。</p>
委員	<p>現在の欄干の高さは1m20cmくらいだと思いますが、かさ上げすることで1m70cmくらいになりますか。</p>
事務局	<p>場所にもよりますが、50cmかさ上げするので、一般の成人男性の身長より少し低い高さになると思われます。全国的にもかさ上げの例がございまして、50cm程度上げると簡単には乗り越えられなくなるという効果が出ていたので、50cmという高さを設定したところです。</p>
委員	<p>青梅市の橋りょうからの自殺を含めての自殺者数はどれくらいですか。</p>
事務局	<p>平成28年度の警察のデータを見ますと、発見地ベースでは33件あり、このうち橋りょうからの自殺は15件ありました。また、居住地ベースで見ると26件あり、橋りょうからの自殺は9件ありました。</p>
委員	<p>わざわざ青梅に来て飛び降りるということですね。</p>



事務局	<p>青梅線の駅から近いところに橋りょうがあるのも理由の一つと考えられます。この件については、JRにもご理解いただいております、看板の設置にもご協力いただいております。</p>
会長	<p>年齢は何歳くらいが多いですか。</p>
事務局	<p>50歳から70歳代が半数以上を占めております。</p>
委員	<p>自殺対策という意味では、もっと未然に防ぐ対策を考えなくてはならないと思います。</p>
事務局	<p>現在動き出している対策の例として橋りょうについてを挙げさせていただきました。こういった橋りょうの対策が全く必要のない自治体もございますが、青梅市にとっては重要な対策として動き出したところでございます。計画自体には、様々な原因に対する対策を盛り込みたいと考えております。</p>
会長	<p>国の自殺対策基本法は、生きることの包括支援を目的にしています。例えば経済的なこと・家族関係・対人関係等が複雑に絡まって抑鬱傾向を悪化させているので、できればワンストップの相談体制を地域で整備できるようにしていただきたいです。市の中だけでは解決できないこともあるかと思いますが、この計画には期待したいと思います。計画の内容はこの会議のどこかでご説明いただく機会はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>東京の計画を見てからになります。こちらで素案を作成して皆様にも見ていただけたらと考えております。</p>
委員	<p>青梅市の飛び降り自殺が多い橋りょうの付近に「いのちの電話」を設置する等の対策をする必要もあると思います。</p>
会長	<p>水際対策ということですね。東尋坊でも、お寺の方がボランティアで見回りをして、自分のお寺に保護することで、思いとどまったという例もあるようです。青梅市の自殺対策計画は平成30年度に策定予定ということですが、策定委員会等は立ち上げる予定でしょうか。</p>
事務局	<p>新たに委員会を立ち上げる予定はなく、この会議のなかで策定に向けて取り</p>

会長	<p>組みたいと考えております。</p> <p>厚生労働省の統計局に、公表されている自殺の統計以外にも、自治体の依頼に基づいてクロス集計してデータを提供してもらえるので、青梅市として必要な基礎データを整理しておくが良いと思います。</p> <p>(4) その他</p> <p>続いて「4 その他」について皆様から何かありますか。</p> <p>～特になし～</p> <p>何もないようなので、議題としては以上となります。これ以降は、事務局に進行をお願いします。</p>
事務局	<p>(5) 閉会</p> <p>大変活発な御意見をたくさんいただきましてありがとうございました。以上をもちまして本日の会議は終了とさせていただきます。本日はお忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">終了</p>